

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	Rainbow Kids Lab		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 5日		～ 2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	2026年 2月 5日		～ 2026年 3月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 22日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動に合わせて、場を選択できるような生活空間となっており、安心して過ごしやすい場を提供することが出来ている。	・人数、子ども同士の発達段階、特性や相性等を踏まえた上で、組み合わせを配慮しています。	・発達段階に応じて視覚的情報を活用したり、構造化を図りながら、子どもたちが安心して過ごすことができるように心がけていきます。 ・お子様一人ひとりの興味を引き出すことが出来るような壁面や教具の充実をより一層図っていきます。
2	活動プログラムが固定されないように工夫されている。	・療育士が固定化しないようにすることで、子どもたちの状況や活動内容に合わせて、場の選択をすることができる空間づくりがなされています。 ・個々の課題と興味を結び付けながら、活動内容を幅広く展開していくことができるような環境を整えています。	・療育内容や支援内容について、計画と振り返りの時間を確保しながら、充実を図っていきます。 ・興味、関心の幅を広げられるような活動作りに積極的に取り組んでいきます。
3	支援内容の共有や事務連絡等、職員間の積極的な連携	・日々の事業所運営の中で、情報共有が行われており、毎月の事業所内会議の開催、支援内容の検討、療育内容についての振り返り等を話し合う機会を設けています。	・空き時間を活用して、話し合いの時間を積極的に設定し、よりよい支援が提供できることを目指していきます。 ・外部研修等を取り入れながら、職員の全体的な質の向上を図るとともに、内部でのヒアリングを通して課題を解決していくことができるように努めていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別活動と集団活動について	・個別活動の充実は図れていますが、集団活動を取り入れたプログラムや内容設定に課題があると感じています。 ・1対1の関わりにおける職員の技術向上に注力しており、集団指導の経験がある職員が少ない。	・現在の事業所の強みを集団活動にも活かして、プログラムを検討していきます。 ・ニーズや課題を考慮に入れながら、集団活動を想定したねらい、働きかけを日々設定する等、職員の質の向上を図っていきます。
2	各関係機関と連携し、包括的な支援を実施している。	・職員の入れ替わりなどがあり、関係機関とのやり取り経験のある職員が少ない。	・連携等に参画できる職員の数、質を高めていくとともに、療育と並行しながら効果を実感していただけるようなフィードバックを重視していきます。
3	地域に開かれた事業運営について	・地域で開催されているイベントなどへの参加は増えている物の、事業所発でイベントは行っていない。	地域への参加が出来始めていることをふまえ、今後・お子様・保護者様のニーズや課題を把握しながら余暇活動やイベントの立案、相談会等を開き、保護者様にも周囲にお声掛けいただけるよう努めていきます。